

ポイド管の円弧の部分を利用したショートバックロードホーン+バスレフ

加藤 剛

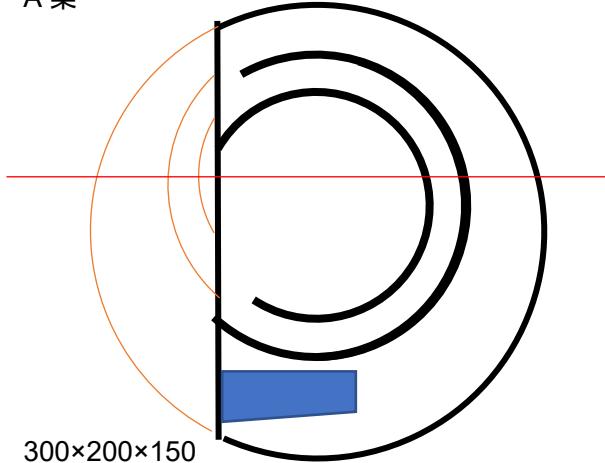
かねてより、ポイド管だけを使ったバックロードホーンを作成したいと思案していた。以前の3層構造でバックロードホーン構造を作成していました。

したが、今回はチューブ素材の特性を生かしたものとします。

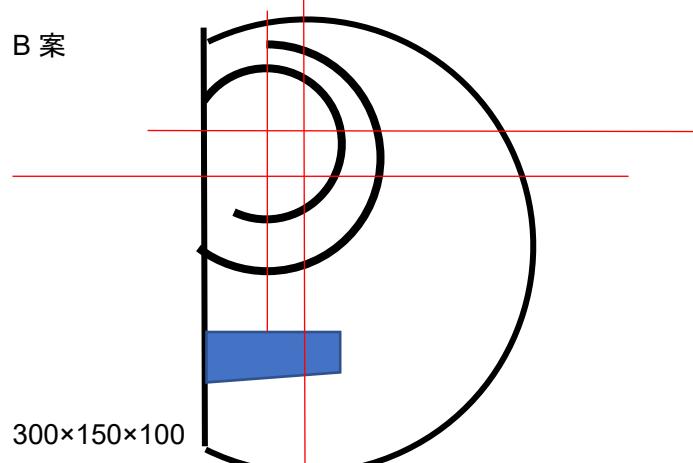
内側の小さいチューブの輪切りを同心円上に配置してスロートを形成して、外周のチューブを異心円に配置すれば理想的なホーン形状になります。

アイデアは WS ワードの図形を使えば下図のとおりとなります。ポイド管の規格と自宅に保管してあるポイド管を鑑み 3 つのアイデアが生まれます。(次ページ)

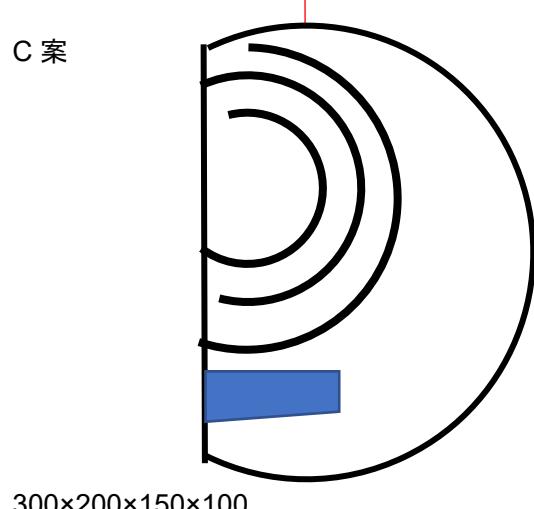
A 案



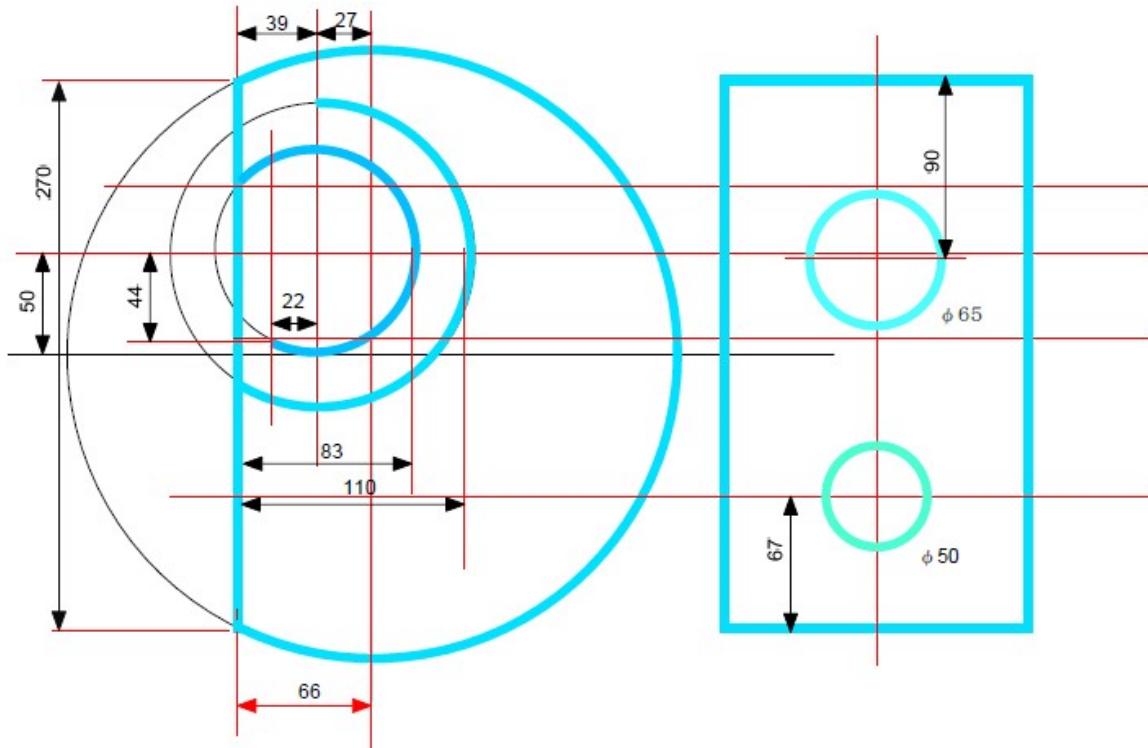
B 案



C 案



で、採用したのはB案。この簡単お絵描きから図面を起こします。



オフ会の発表ではバックロードホーン+バスレスのバスレスダクトの違いにより、視聴感の違いを確認します。
どなたか、広がり率の計算方法教えてください。

使用ユニット

マークオーディオ 6cm フルレンジ OM-MF4-MICA

外観写真

